



住友理工株式会社  
SUMITOMO RIKO Company Limited

株主通信

# 第128期 中間期

2015年4月1日～2015年9月30日

証券コード:5191

Innovation & Growth

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社グループへの日頃のご愛顧に心より御礼申し上げます。

中期経営計画「2015年 VISION (2015V)」の最終年度となる当期は、将来の持続的成長を見据え、真のグローバル企業への飛躍に向けて地力を蓄える重要な年と位置付けています。現在、当社グループの事業基盤は世界23カ国103拠点に広がり、グループ・グローバルでの高度な経営管理体制の構築が急務となっています。

当期からは、グループ内の会計処理を国際会計基準(IFRS)に統一しました。さらに2016年1月からは名

古屋市内にグローバル本社を新設し、事業拡大の推進はもとより、優秀で多様な人材が活躍できる場を創出して人材の確保と育成を図るとともに、ダイバーシティ経営にも力を入れていきます。

目まぐるしく変わる経営環境にあって、「変えるべきものは変え、守るべきものは守る」という「不易流行」の精神は不変です。私たちは引き続き、住友事業精神を大切にしながら、全社を挙げて“Global Excellent Manufacturing Company”への変革を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、さらなるご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
取締役会長 兼 CEO

西村 義明

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第128期中間期(2015年度)の業績と通期業績見通し、そして今後の事業展開につきましてご報告いたします。

当社グループは当期より、従来の日本基準に替えて国際会計基準(IFRS)を適用しており、前期の各数値もIFRSベースに組み替えて比較分析を行っております。

## ■事業の経過および成果

当期間の世界経済は、個人消費が堅調な米国で景気拡大が継続したほか、債務危機の長期化による景気低迷からの脱却が課題だった欧州でも、緩やかな景気の回復が続きました。一方、経済の減速が鮮明となった中国で先行きはさらに不透明感を増し、東南アジアを中心とするアジア新興国では政情不安による輸出減少などの影響で景気低迷から抜け切れませんでした。ブラジルをはじめとする南米でも経済活動が低迷し、さらに景気後退が続きました。国内経済につきましては、世界経済の減速への懸念が強まる中、政府の景気対策などによる雇用や所得の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、全体として緩やかな回復基調にありました。

当社グループの主要取引先である自動車業界におきましては、米国で

は低金利・ガソリン安を受け、高級車や大型車を中心に販売が好調だった一方、ブラジル、中国では経済情勢の悪化により、販売不振が続きました。また、国内市場では軽自動車の増税の影響などで販売が減少しました。

このような中、当社グループは、グローバルでの開発・生産・販売網を拡充・強化するとともに、原材料調達や生産体制などを見直すコスト削減活動「Global Cost Innovation (GCI)」や、資金効率の改善を目指した活動「Cash Conversion Cycle (CCC)」を推進し、収益力の高い経営体制の構築に注力しました。また、これまでに確立したグローバルでの事業基盤を最大限活用して、厳しい事業環境の中でも収益を確保できる経営体制の強化を図るとともに、新たな事業展開の加速に向けて経営資源の配分の最適化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当期間の売上高は北米での販売が堅調に推移したこと、また、円安による為替影響もあり、2,081億83百万円(前年同期比8.8%増)となりました。営業利益は、前年同期間にAnvis社(ドイツ)における事業構造改善費用を計上したこともあり、前年同期比で増益となる48億75百万円(同2.3倍)となりました。また、税引前四半期利益は、45億35百万円(同4.0倍)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、10億62百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失8億64百万円)となりました。

## ■通期業績見通し

2015年度下期の経営環境は、米国で堅調な景気拡大が見込まれる一方で、中国・アジアの景気減速、南米経済の低迷に加え欧州系自動車メーカーの減産などが見込まれ、依然として厳しい経営環境が続くと認識しています。こうした状況を反映して、通期業績予想数値を今年5月の発表時点から修正し、売上高4,100億円、営業利益110億円、税引前利益100億円、親会社の所有者に帰属する当期利益25億円とします。いずれも下方修正となりますが、5月の公表通り、前期比で増収増益を見込んでいます。また、中期経営計画「2015年 VISION (2015V)」で設定した目標に対しては、売上高はほぼ達成の見込みであるものの、営業利益については達成が困難な見通しです。

なお、配当につきましては、株主の皆様への長期にわたる安定した利益還元の基本方針より、年初の公表通り、1株あたりの中間配当金を9円、期末配当金を9円とし、年間配当金は前年と同額の18円とさせていただきます。

## ■今後の事業展開

2015Vの最終年度である当期において、当社グループ全体における収益化は大きな課題です。特に買収・子会社化したDytech社(イタリヤ)、Anvis社とのシナジー効果を早期に創出するため、下期はそのスピードをさらに加速させていきます。

### ＜自動車用品部門＞

山形県米沢市に今年4月、防振ゴムの製造・販売子会社「住理工山形株式会社」を設立しました。東北・北関東エリアへの効率的な製品供給体制を整備し、来年6月の稼働を目指します。為替変動に影響されない確固たる事業基盤を再構築し、「地産地消」で競争力のある製品をグローバルに提供していきます。

また、韓国で防振ゴムのトップシェアを誇り、当社が資本参加する株式会社大興R&Tと合弁で今夏、中国江蘇省の塩城に練りゴム製造・販売会社「大興住理工橡塑材料(塩城)有限公司」を新設しました。来夏より稼働予定で、中国で展開する当社グループ各拠点へ高い品質の練りゴムを、安定的に供給できる基盤を構築してまいります。

さらに昨秋量産を開始した燃料電池(FC)スタック向けゴム製シール部材「セル用ガスケット」を安定的に供給するため、今年4月に製造子会社「住理工FCシール株式会社」を設立。トヨタ自動車株式会社の燃料電池自動車(FCV)「MIRAI」に採用されており、環境にやさしいエコカーの普

及と水素社会の実現に貢献します。

### ＜一般産業用品部門＞

業容拡大に向けた販売力を強化するため、当社製品を広く取り扱う「住理工商事株式会社」を発足させ、10月より業務を開始しました。自動車向け以外の産業用ゴム製品(各種防振ゴム)を取り扱う化工品事業を中心に、既存事業および新規事業の製品拡販を推進します。

また、成長市場と位置付ける「医療・介護・健康」分野では、健康介護事業室が体圧検知センサ「SR(スマートラバー)センサ」を応用した各種製品の開発を進めており、床ずれを防止する「SRアクティブマットレス」や歩行機能を補助する「歩行アシストスーツ」の製品化を早期に実現します。

現在、当社グループの事業基盤は世界23ヶ国103拠点に広がり、従業員数は約2万4,000人に上ります。グローバル展開を加速させる中、経営管理の高度化を進めるため、名古屋市内にグローバル本社を新設し、来年1月より業務を開始します。リニア開業を見据え、名駅地区が大きな変貌を遂げる中、グローバル本社機能を都心部へ移すことで、従業員の意識改革やグローバルに活躍できる人材の確保を促進します。

加えて、コーポレートガバナンス・コードの導入を機に、企業価値の向上を目指した取り組みへの期待が高まっています。持続的な価値創造に向けた活動として、「稼ぐ力」である収益力の強化を推し進めるとともに、ESGやダイバーシティの観点からのアプローチも積極的に図ります。

さらに、当期は2015Vの分析・検証および新中期経営計画の策定に取り組んでいます。真のグローバル企業の実現に向け、新たな経営戦略を立案いたします。

当社グループは、長年にわたり培ってきたコアコンピタンス「高分子材料技術」「総合評価技術」を軸に、住友事業精神が謳う「信用確実」「不逞浮利」を忠実に守りながら、事業運営の基本「安全・環境・コンプライアンス(SEC)」の取り組みを着実に積み重ねていくことにより、世界中で必要とされる“Global Excellent Manufacturing Company”への飛躍を目指してまいります。



代表取締役  
社長 兼 COO

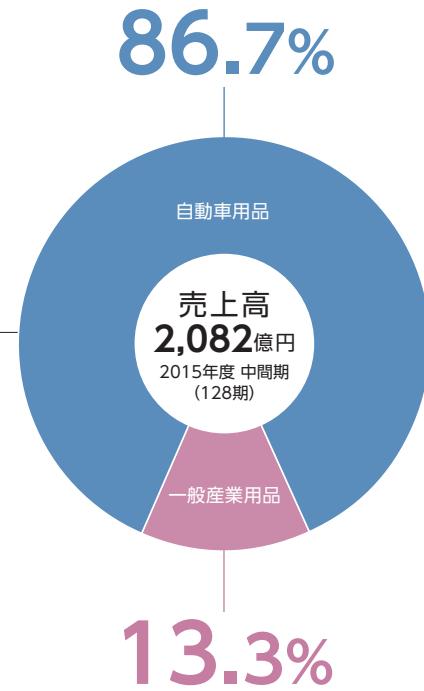
松井 徹

# セグメント別売上高

部門別売上高推移 (2015年9月30日現在)

## 自動車用品

売上高は、国内市場において自動車販売台数が低迷したものの、昨年より量産を開始した燃料電池自動車(FCV)の燃料電池(FC)スタック向けゴム製シール部材の販売などもあり、前年の実績を上回りました。海外市場においては、中国における欧州系自動車メーカーを中心とする自動車販売の不振や、天津での大規模な爆発事故の影響などで伸び悩みましたが、北米での需要拡大に伴い順調に増加しました。以上の結果、セグメント間消去前の売上高は1,805億35百万円(前年同期比10.1%増)となりました。営業利益は、北米での増収効果、また、前年同期間にAnvis社(ドイツ)における事業構造改善費用を計上したこともあり、前年同期比で増益となる42億92百万円(同3.8倍)となりました。



## 一般産業用品

[IT関連・産業資材 他]

産業資材関連製品のうち、建設・土木機械向け高圧ホースは、中国の景気減速を受けてインフラ需要が大きく落ち込み、前年同期の実績を下回ったものの、プリンター向け機能部品など事務機器向け精密部品分野は、中国や新興国市場でプリンター消耗部品の販売が堅調でした。また、国内における鉄道車両用防振ゴムや集合住宅向け制振装置の販売も底堅く推移しました。以上の結果、セグメント間消去前の売上高は342億49百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は中国市場低迷による稼働率低下、新設会社の立上げコスト増加などが収益を圧迫し、5億83百万円(同40.0%減)となりました。



防振ゴム



エンジンや路面からの振動を低減し、乗り心地を高めます。

ホース



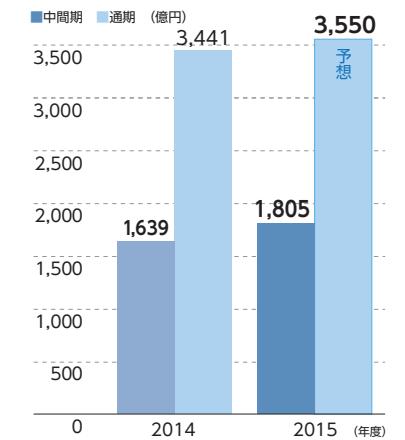
燃料やエア、冷却水などを安全に供給します。

制震用品・内装品



騒音低減や、車室内の安全・快適性に貢献するウレタン部品です。

自動車用品 連結売上高



事務機器向け精密部品



プリンターや複写機の画質を大きく左右する重要機能部品です。



高圧ホース



建設機械に使用される耐久性に優れた油圧ホースです。



木造住宅用制震ダンパー



地震による建物の揺れ・変形を大幅に低減する制振システムです。

一般産業用品 連結売上高



# 連結財務諸表

## 連結財政状態計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (2015年 9月30日現在)	前連結 会計年度 (2015年 3月31日現在)	IFRS移行日 (2014年 4月1日現在)
<b>流動資産合計</b>	<b>179,548</b>	<b>186,940</b>	<b>164,672</b>
<b>非流動資産合計</b>	<b>212,598</b>	<b>212,501</b>	<b>200,957</b>
有形固定資産	155,335	154,799	141,282
のれん	5,761	5,659	7,024
無形資産	20,629	19,488	18,071
持分法で会計処理されている投資	3,639	3,580	2,238
繰延税金資産	2,974	3,378	3,335
退職給付に係る資産	11,013	11,102	7,817
その他の金融資産	10,022	10,807	18,292
その他の非流動資産	3,225	3,688	2,898
<b>資産合計</b>	<b>392,146</b>	<b>399,441</b>	<b>365,629</b>
<b>流動負債合計</b>	<b>103,626</b>	<b>98,387</b>	<b>99,216</b>
<b>非流動負債合計</b>	<b>101,872</b>	<b>106,709</b>	<b>89,212</b>
<b>負債合計</b>	<b>205,498</b>	<b>205,096</b>	<b>188,428</b>
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>167,995</b>	<b>174,761</b>	<b>160,432</b>
資本金	12,145	12,145	12,145
資本剰余金	10,761	10,756	10,867
利益剰余金	136,034	135,929	131,119
自己株式	△ 268	△ 267	△ 266
その他の資本の構成要素	9,323	16,198	6,567
<b>非支配持分</b>	<b>18,653</b>	<b>19,584</b>	<b>16,769</b>
<b>資本合計</b>	<b>186,648</b>	<b>194,345</b>	<b>177,201</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>392,146</b>	<b>399,441</b>	<b>365,629</b>

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
<b>売上高</b>	<b>208,183</b>	<b>191,331</b>
売上原価	△ 177,850	△ 162,767
<b>売上総利益</b>	<b>30,333</b>	<b>28,564</b>
販売費及び一般管理費	△ 25,688	△ 24,049
持分法による投資利益	147	75
その他の収益	611	533
その他の費用	△ 528	△ 3,036
<b>営業利益</b>	<b>4,875</b>	<b>2,087</b>
金融収益	311	321
金融費用	△ 651	△ 1,274
<b>税引前四半期利益</b>	<b>4,535</b>	<b>1,134</b>
法人所得税費用	△ 2,543	△ 1,342
<b>四半期利益(△は損失)</b>	<b>1,992</b>	<b>△ 208</b>

### 連結四半期利益の帰属

親会社の所有者(△は損失)	1,062	△ 864
非支配持分	930	656
<b>四半期利益(△は損失)</b>	<b>1,992</b>	<b>△ 208</b>

## 連結包括利益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
<b>四半期利益(△は損失)</b>	<b>1,992</b>	<b>△ 208</b>
その他の包括利益合計	△ 8,150	6,421
<b>四半期包括利益</b>	<b>△ 6,158</b>	<b>6,213</b>

### 連結四半期包括利益の帰属

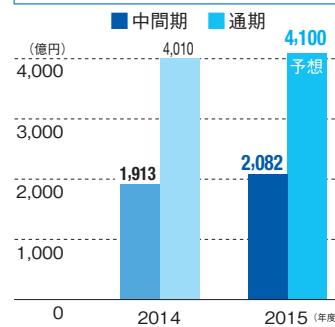
親会社の所有者(△は損失)	△ 5,812	4,810
非支配持分(△は損失)	△ 346	1,403
<b>四半期包括利益(△は損失)</b>	<b>△ 6,158</b>	<b>6,213</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

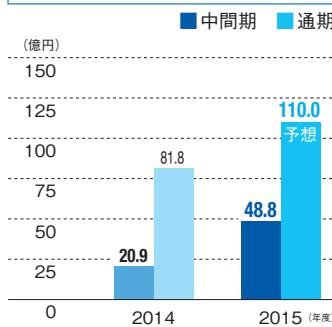
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日から 2015年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,470	10,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,264	△ 9,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 212	2,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,818	2,397
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,824	5,132
現金及び現金同等物の期首残高	38,307	24,726
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>35,483</b>	<b>29,858</b>

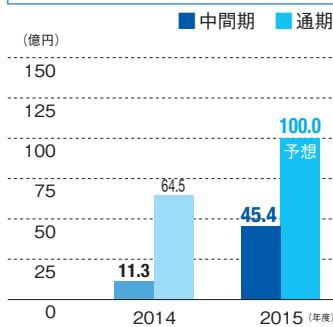
### 連結売上高



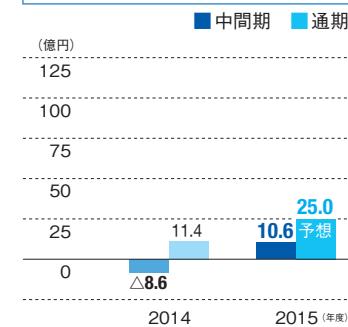
### 連結営業利益



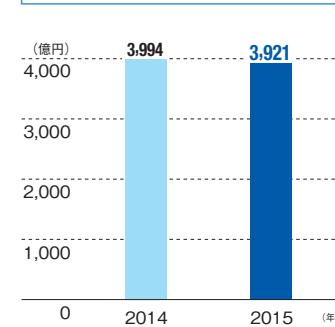
### 連結税引前利益



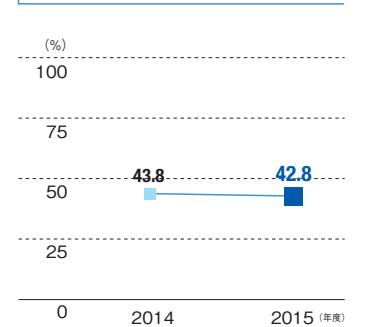
### 連結親会社の所有者に帰属する当期利益



### 連結資産合計



### 連結親会社所有者帰属持分比率



## 山形県米沢市に自動車用防振ゴムの製造子会社を設立

当社は、山形県米沢市に自動車用防振ゴムを製造・販売する新会社「住理工山形株式会社 (SRK-YG)」を設立しました。

これまで自動車用防振ゴム事業は、国内においては主に日系自動車メーカー向け製品として、小牧製作所を中心とする拠点で生産、さらに中国やタイなど海外生産拠点で製造した製品も一部、国内向けに輸入・供給してきました。しかし、円安が進む中、為替変動の影響を受けにくい事業基盤を再構築し、「地産地消」で競争力のある製品を安定的に供給するため、全国の工業団地を候補対象に調査を進め、同市内に立地する工業団地への進出を決定しました。

SRK-YGは、当社グループの生産拠点として、初めての東北地方への展開であり、新会社設立により、東北

地方に展開する国内自動車メーカーだけでなく、北関東エリアを含む、より広域のメーカーに迅速で効率的な製品供給が可能となります。

また、当社は7月7日、工場立地予定地である山形県および米沢市と合同で設立記者会見を実施。行政側から山形県の吉村美栄子知事と米沢市の安部三十郎市長が、当社側からは取締役会長兼CEO 西村義明と、当社執行役員で、SRK-YG社長 矢野勝久が出席し、新拠点を設立する意義や今後の事業展開について説明しました。

今後は、取得した土地・建物の整備・改修を進め、来年6月に操業開始の予定です。当社グループは新拠点設立により、地域の振興と発展に寄与し、地域の皆様に愛され、親しまれる企業を目指していきます。

### <SRK-YGの概要>

名称	住理工山形株式会社
所在地	山形県米沢市八幡原三丁目4452番地33
事業内容	自動車用防振ゴムの製造・販売
資本金	4.95億円
出資比率	住友理工株式会社 100%
設立	2015年4月
代表者	代表取締役社長 矢野勝久 (住友理工 執行役員 防振事業部長)
従業員数	約100人(2017年度見込み)
工場面積	敷地 約52,000㎡、建屋 約9,400㎡
投資額	約20億円
売上高	約30億円(2018年度見込み)
操業開始	2016年6月(予定)

## 住理工山形株式会社



記者会見で堅い握手を交わす(左から)吉村知事、会長兼CEO 西村、SRK-YG社長 矢野、安部市長



## FC部材製造新会社を設立

当社は、燃料電池自動車(FCV)に搭載する燃料電池(FC)部材の安定的な供給体制を確立するため、FC部材製造会社「住理工FCシール株式会社(SRK-FC)」を設立しました。

当社は、コアコンピタンスである「高分子材料技術」を駆使してFCスタック向けのゴム製シール部材「セル用ガスケット」を開発し、昨年11月に量産を開始しました。この製品は、トヨタ自動車株式会社が同12月に発売したFCV「MIRAI」に採用されています。

今後大きな成長が見込まれる分野であり、FCVの心臓部であるFC向けの基幹部品として、当社製品の安定的な量産と供給を両立するため、これまで当社FC製造部門で担ってきた生産機能を新会社に集約し、事業の拡大と効率化を図ります。

## 住理工FCシール株式会社

### <SRK-FCの概要>

名称	住理工FCシール株式会社
所在地	[本社] 愛知県小牧市東三丁目1番地
事業内容	燃料電池(FC)部材の製造・販売
資本金	4.95億円
出資比率	住友理工株式会社 100%
設立	2015年4月
代表者	代表取締役社長 矢野勝久 (住友理工 執行役員 防振事業部長)
従業員数	約80名(2015年度)

## 中国・江蘇省に練りゴム製造合併会社を設立

当社は、韓国で自動車用防振ゴムのトップシェアを誇る株式会社大興R&Tと合併契約を結び、中国江蘇省の塩城に練りゴム製造・販売新会社「大興住理工橡塑材料(塩城)有限公司(DSRM)」を設立しました。

当社は昨年12月、大興R&Tへの出資比率を引き上げており、両社のさらなる関係強化を図った最初のプロジェクトとして今回、両社が共同で新会社を設立するものです。

住友理工、大興R&Tの両社はこれまで、それぞれ練りゴムの生産を続けてきましたが、事業拡大に伴って生産能力の増強が必要となり、新たな合併会社を設立することになりました。

これにより、中国に展開する当社グループ各拠点へ高品質で競争力のある練りゴムを安定供給できる体制、また両社グループが共同で集中生産することによるシナジー効果を生み出せる体制を構築していきます。



調印式で堅く手を握る会長兼CEO 西村(左)、柳・大興R&T会長(中央)ら

### <DSRMの概要>

名称	大興住理工橡塑材料(塩城)有限公司
所在地	中国 江蘇省 塩城高新技术产业開發区内
事業内容	練りゴムの製造・販売
資本金	8百万USD
出資比率	住友理工株式会社 40%、株式会社大興R&T 60%
設立	2015年8月
代表者	総経理 金泳吉
従業員数	約60人(2018年度見込み)
工場面積	敷地 約13,200㎡、建屋(延床面積) 約14,500㎡
投資額	16百万USD
売上高	83百万元(2016年度見込み)
操業開始	2016年8月(予定)

## 一般産業用品と新規事業製品の販売会社が発足

### 住理工商事株式会社

当社グループは、一般産業用品部門における事業の拡大を図るため、土木・建築資材製造・販売子会社、株式会社ビュープランニングの商号を「住理工商事株式会社 (SRK-Co)」に変更。今後は新たに、既存事業および新規事業の製品拡販、マーケティング・営業力の強化による新商品の探索と開発、製品化を進める販売会社とします。

まずは、自動車向け以外の産業用ゴム製品 (建築・土木・鉄道車両用防振ゴムなど) を取り扱う当社の化工品事業において、製造部門と営業・販売部門を切り

離す「製販分離」を実施し、営業・販売機能を住理工商事に集約することで、より効果的な事業運営を図ります。今後、化工品事業以外の製品についても、幅広く取り扱う予定です。

#### 主な取扱製品



木造住宅用制震システム  
TRCダンパー



鉄道車両用防振ゴム



SRセンサ (SRソフトビジョン)

#### <SRK-Coの概要>

名称	住理工商事株式会社
所在地	[本社] 愛知県名古屋市中区錦三丁目8番14号
事業内容	住友理工製品の販売
資本金	1億円
出資比率	住友理工株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 久岡洋一 (住友理工 顧問)
従業員数	62人 (10月1日現在)
営業拠点	東京、大阪、名古屋、仙台、広島、福岡

### 一般産業用品事業、中国でも拡販を加速

さらに当社グループでは、一般産業用品部門における海外での事業拡大を目的に、中国・上海市に「住理工化工品 (上海) 有限公司 (SRK-IPS)」を昨年12月に設立しています。SRK-IPSでは、土木機械や特装車、鉱山機械向けに、高品質な産業用ホースを積極的に販売し、中国市場におけるシェア拡大に向けた取り組みを進めています。また、将来的には産業用防振ゴムなど産業資材製品を広く取り扱う予定です。



建機・土木機械向け  
高圧ホース

## TRI京都 開所式 本格稼働へ

産業用ホース事業のグローバル展開におけるマザー工場として2013年12月に設立された株式会社TRI京都で今年4月、開所式を執り行いました。

開所式には、京都府の山下晃正副知事や綾部市の山崎善也市長ら地元を中心に約40名が出席し、新拠点の門出を祝いました。

TRI京都では、全世界への製品供給や海外拠点への技術供与に対応するなど、マザー工場としての重要な役割を担うとともに、工程の大幅短縮による低コストで高品質な製品の供給体制を強化し、さらなる市場シェア拡大と事業展開の多角化を牽引していきます。



TRI京都外観



テープカットには、山下副知事、山崎市長にもご参加いただき、開所式はにぎやかに執り行われました。



高圧ホース

長尺ライン

### 世界最長クラスの長尺ホース製造ラインを設置

TRI京都には、単長約60メートルに及ぶホース製造ラインを新設。この最新設備は世界でも珍しく、複数の工程を同時に行うことにより、生産性の向上、低コスト化が実現しました。

現在、搬送用ホース (布巻ホース) については、全機能の移管が完了。2016年には、ワイヤーブレードホースの生産が移管され、全ての産業用ホースがTRI京都で生産される予定です。

## 住友理工グループの事業報告 「統合報告書 2015」を発行

本報告書は、当社グループの業績をはじめとする財務情報と、経営戦略やCSR情報などの非財務情報を統合し、会社情報として発信するもので、投資家を中心とした幅広いステークホルダーの皆様へ当社グループに関する情報を総合的に提供し、長期的な視点でご理解いただくことを目的としています。

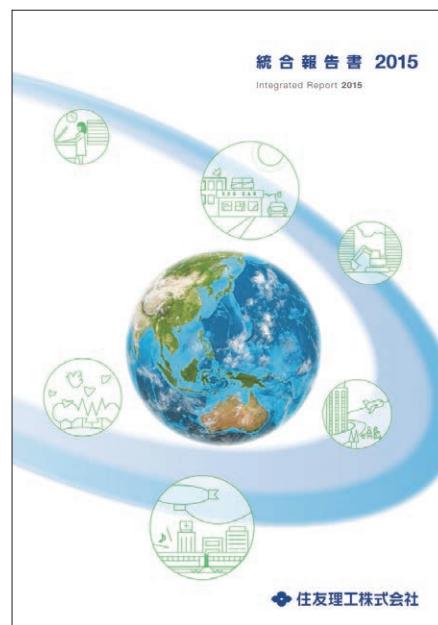
当社では昨年、初めて統合報告書を発行し、今年は昨年より12ページ増やしてより多くの情報を掲載しています。また、編集にあたっては国際統合報告評議会(IIRC)が発表している「国際統合報告フレームワークver.1.0」などを参考にし、グローバルに広く通用する報告書として作成しました。本報告書を通じて当社グループの経営・企業活動を、より多くのステークホルダーの皆様にご理解いただければ幸いです。

### <統合報告書 2015>

会社方針や経営体制などを取締役会長兼CEO 西村義明が自らの言葉で語る「会長メッセージ」、さらに社長兼COO 松井徹からは住友理工グループのグローバル戦略をトップメッセージとしてお伝えしています。また、「高分子材料技術」「総合評価技術」をコアコンピタンスとし、「Global Excellent Manufacturing Company」を目指す当社ビジネスモデルの解説をはじめ、各事業・製品の紹介、各種取り組みやデータを伝える「社会・環境」、過去10年間の推移が「財務データ」など幅広い項目を網羅しています。

本報告書は、投資家の皆様を主な対象に、投資判断に必要な情報を積極的に提供する方針で編集しております。下記の当社ホームページ「IRライブラリ」より、ご覧いただくと幸いです。

※「統合報告書 2015」は、海外の皆様にもご利用いただくため、英語版もご用意しています。  
当社ホームページURL：<http://www.sumitomoriko.co.jp/>



## ダイバーシティを考えるきっかけに 住友理工 学生小論文アワードを開催

本アワードは当社の商号変更を記念して行われたもので、募集テーマは「これからの男女共同参画」「ダイバーシティ(多様性)」「ワークライフバランス」「インクルージョン(包摂)」などをキーワードに、男女の視点を盛り合わせた「男女共同参画」について、大学生・院生の皆様から小論文を募集したところ、全国から50作品の応募がありました。

株式会社大和総研の河口真理子氏を審査委員長に迎えて、審査を実施。法政大学・福屋実希子さんらが執筆した「働く人の対等なパートナーシップが築く男女協働参画社会を求めて」を最優秀賞として選出しました。6月下旬に開催した表彰式では、最優秀賞から審査員特別賞を含めた、計7作品を執筆した皆様を顕彰。本アワードの審査員をパネリストに「男女共同参画」をテーマとした記念シンポジウムも開催し、「女性の力を潜在化させているのは企業自身ではないか」という提言など、活発な討議が会場を盛り上げました。

当社は、今後も本アワードを継続して実施する予定です。



### 「社会貢献活動スローガン」が決定

住友理工グループが積極的に進めている社会貢献活動を、より分かりやすく皆様へお伝えする目的で「社会貢献活動スローガン」を全世界の拠点より募集しました。100作品を超える応募から当社役員の審議を経て決定したのが「Along

with You, Together with Society」です。このスローガンは今後、住友理工グループの社会貢献活動の様々な場面で使用していきます。

*Along with You, Together with Society!*

会社の概要 (2015年9月30日現在)

設立	昭和4年(1929年)12月
本社	〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地 電話(0568)77-2121(代表)
発行済株式総数	104,042,806株
従業員	連結 23,782人
主要営業品目	自動車用品部門 防振ゴム、ホース、制震部品・内装品
	一般産業用品部門 精密樹脂ブレード・ロール、車両用・住宅用・橋梁用防振ゴム、高圧ホース・搬送用ホース、ゴムシール材
主な営業拠点	本社(愛知県小牧市)、東京支社、東京自動車営業部(神奈川県相模原市)、大阪支社、広島支店
工場	小牧製作所、松阪製作所、富士裾野製作所
関係会社	89社

役員 (2015年9月30日現在)

取締役および監査役

代表取締役 取締役会長兼CEO	にしむら よしあき 西村 義明	取締役	かなおか かつのり 金岡 克典	常勤監査役	おかだ しげひろ 岡田 茂弘
代表取締役 社長兼COO	まつい てつ 松井 徹	取締役	たつた りきぞう 立田 力三	常勤監査役	こんどう かずお 近藤 和雄
代表取締役	おぎ としひこ 尾崎 俊彦	取締役	まえだ ひろひさ 前田 裕久	社外監査役	きむら としひで 木村 壽秀
代表取締役	わたなべ みつる 渡辺 満	社外取締役	いりたに まさあき 入谷 正章	社外監査役	ますだ こういち 増田 宏一
取締役	おおはし たけひろ 大橋 武弘	社外取締役	はながた しげる 花形 滋	社外監査役	ながやす ひろし 長安 弘志

※社外取締役 入谷正章、花形滋の両氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

※社外監査役 木村壽秀、増田宏一および長安弘志の3氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

※社外取締役 入谷正章、花形滋、社外監査役 増田宏一および長安弘志の4氏は東京証券取引所等の定めに基づく独立役員です。

執行役員

執行役員副社長	おぎ としひこ 尾崎 俊彦	常務執行役員	ないとう はじめ 内藤 肇	執行役員	オラフ・ハーン	執行役員	わく しんいち 和久 伸一
執行役員副社長	わたなべ みつる 渡辺 満	常務執行役員	はながた まさひこ 花崎 雅彦	執行役員	なかやま ゆきのり 中山 幸紀	執行役員	たかがい じゅん 高貝 淳
専務執行役員	おおはし たけひろ 大橋 武弘	常務執行役員	まつおか つとむ 松岡 勉	執行役員	チャールズ・ランド・ランブロー	執行役員	せんた こうじ 仙田 弘二
専務執行役員	すずき ようじ 鈴木 洋治	常務執行役員	なんの たかお 南野 高伸	執行役員	きたむら ひろかず 北村 浩一	執行役員	みづかみ いさお 水上 勇夫
常務執行役員	かなおか かつのり 金岡 克典	常務執行役員	おおしま つかさ 大島 司	執行役員	やすだ ひでよし 安田 日出吉		
常務執行役員	たつた りきぞう 立田 力三	執行役員	かとう たかひさ 加藤 隆久	執行役員	やの かつひさ 矢野 勝久		
常務執行役員	まえだ ひろひさ 前田 裕久	執行役員	ジュリアーノ・ズッコ	執行役員	しばはら あきひろ 柴原 彰広		

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月に開催

基準日

定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告の方法

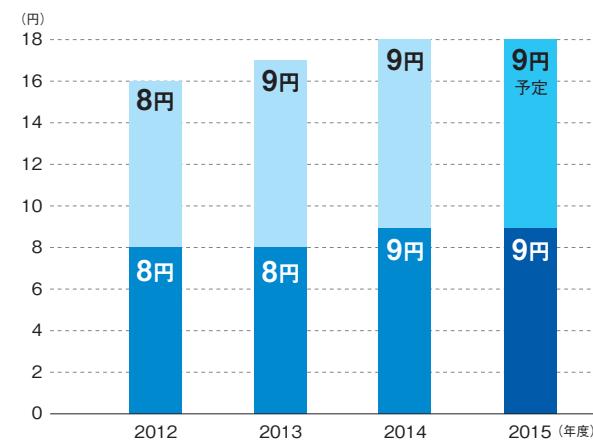
当社のホームページに掲載  
<http://www.sumitomoriko.co.jp/koukou/index.html>

上場証券取引所

東京証券取引所、名古屋証券取引所

配当金

1株当たり配当金の推移



統合報告書 2015のご案内

当社の財務情報、非財務情報を網羅した「統合報告書 2015」をHPにて公開しております。ぜひお役立てください。  
 TOPページ→IR情報→IRライブラリ→統合報告書 当社ホームページ URL : <http://www.sumitomoriko.com>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

0120-782-031 (フリーダイヤル)

インターネットホームページURL

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

●株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

●特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



『高分子材料技術』で  
あたらしい価値をつくりたい。



高分子材料技術による、住友理工のこれからの開発分野



住友理工株式会社

〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地  
TEL.(0568)77-2121(代表) FAX.(0568)77-5341

UD  
FONT



この冊子は、インキ油の成分の一部に植物油を使用した、環境にやさしいベジタブルオイルインキを使用しています。また、ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルフォントを採用しています。